

保健福祉企画総務課長 様

住宅課長 森 本 浩 之

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成25年7月26日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	さくら住座再生事業（第1期）	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<p>○点字ブロックは敷設するのか。図面には記載されていないが。視覚障害者も入居はありうる。視覚障害者を1階のみにまとめることもあろうが、上層階への来客も含めた考慮を。</p> <p>○視覚障害者も高齢化が進む。また糖尿病で失明していく方も考えられる。新しい住宅の建設であり、将来的な視野も入れて検討されたい。</p> <p>○点字ブロックは、当然設置されるものと思っていた。ブロックの設置は、「検討します」ではなく、「ある」という回答を求めたい。</p> <p>○せめて、スロープ・階段・建物の出入口にブロックを設置されたい。また、なぜ敷設できないのか。</p> <p>○エレベータは、車いすの障害者も乗れると認識しているが、視覚障害者にも配慮されているのか。</p> <p>○エレベータの操作ボタンの高さは大丈夫か。</p>	<p>○予定はしていない。理由は、市営住宅への出入は入居者に特定されるものであり、不特定多数の出入は想定していないため。</p> <p>ただ、ご指摘のような事象も考えられるため、持ち帰り検討とさせていただきたい。</p> <p>○検討します。</p> <p>○岡山市くらしやすい福祉のまちづくり条例を確認し、対応します。</p> <p>○設置するよう検討します。</p> <p>○9人乗り。かご内での車いすの回転は不可能であるが、鏡を設け、車いす利用者が後方を確認しながらバックして降りられるよう配慮している。音声案内・ボタン位置についても配慮している。</p> <p>○床面から1mの車いす利用者に使いやすい位</p>	

<p>○88戸整備に対し、下肢障害者向け住宅の整備が3戸は少ない。</p> <p>○12階建となると、聴覚障害者の非常時における報知器察知に対する考え方は。高齢者が多い中で、音だけで察知することは困難。</p> <p>○一般向け住宅についても、身体機能の後退により下肢障害となる方にも有効な間取りなのか。それとも、そうした対応はできないのか。</p> <p>○1階の障害者向け住宅がなぜ東西に離れているのか。駐車場から遠く離れているのは、納得がいかない。</p> <p>○下肢障害者向け住宅について、申込が少ないとのことだが、情報を得る機会が少ないためと考えられる。障害者にとって住宅を確保することは困難。こうした住宅の提供は、なくてはならない政策。設計に反映されたい。</p> <p>○避難経路について説明を。また、避難先は。</p> <p>○避難経路に点字ブロックの設置は可能か。</p> <p>○高齢者は、聴力が低下する。インターホンを押しても分からない。玄関には、いつでもモニター設置ができるよう、通信線を確保されたい。インターホンではコミュニケーションは十分とれない。映像で確認できるよう、タブレットの設置を。</p> <p>○非常時において、音だけでなく光での報知を。</p> <p>○集会所のマイクについては、補聴器に接続できる機能に。音声情報のバリアフリー化にも取り組んでいただきたい。</p> <p>○下肢障害者向け住宅のバルコニーは柱がせり出しているが、有効幅員は。</p> <p>○集会所の入り口はどうなっているのか。段差はあるのか。</p>	<p>置としている。</p> <p>○これまでのストックを参考に、戸数を決定した。また、これまでの応募倍率を考慮して、3戸としている。</p> <p>○消防法、建築基準法について適合する内容にとどまるものであり、光による報知は計画していない。関係機関に確認し、検討します。</p> <p>○一般向け住宅も、昨今ご承知のサービス付き高齢者向け住宅の整備で求められる、加齢対応構造のチェック項目を参考に、可能な限りクリアするよう配慮した間取りとしている。</p> <p>○世帯間ミックスを図ること、住戸タイプごとに集約するのではなく分散させることで、世帯間交流を図る(深める)ことを目的としている。また、避難経路(スロープ)の確保を考え、この配置になった。</p> <p>○検討します。</p> <p>○2方向避難を可能としている。避難場所は指定しているものではないが、広場等外部への避難が行えるようにしている。</p> <p>○検討します。</p> <p>○〔一括して回答〕各住戸に対して、あらかじめ設置は考えていない。個別対応となる。ただ、その際のために空配管を通しておくことを、前向きに検討します。</p> <p>○検討します。</p> <p>○検討します。</p> <p>○800mm 確保している。</p> <p>○外観パース上は段差があるようになっているが、玄関ポーチは外部の舗装をすりつける予定であり、なだらかなスロープで集会所に入ることができる。玄関には床見切りは設けるもの</p>
--	---

<p>○駐車場の東側の植栽スペースについて。高木では見通しが悪いため、低木を整備されたい。</p> <p>○集会所のトイレについて、多目的トイレと女性用トイレが同じ前室を介して入口があるという状態になっているというのは、動線的にも(=安全面)、感覚的にも問題がある。おのおの出入口を確保できないか。</p> <p>○高層化にともない、消防活動が円滑に行われるよう、消防署との協議は行っていることと思うが、市の姿勢をたずねたい。これだけ大規模な市営住宅となると、今後の市営住宅のモデルとなろう。今回の整備事業が悪い意味で前例とにならないよう留意されたい。</p> <p>○集会所は地域行事や災害時の受け入れも考えられ得る。地域の方が集会所を利用する場合のことも考え、点字ブロックの設置を。</p> <p>○室名表示や案内板等の表示も大きくしていただきたい。</p> <p>○単身車いすの方が市営住宅に入居しているのをあまり聞いたことがない。使いやすい住宅となるよう、自立生活支援の設計をお願いする。</p> <p>○植栽の手入れはどうするのか。高齢者になるとこれらが負担になる。また、入居者間でのトラブルも懸念される。</p> <p>○津波対策は。避難者への対応は。避難所に位置づけていなくとも、とりあえず逃げてくる人への対処を求められると思うが。</p> <p>○防災倉庫は2階以上でない浸水するのではないか。また、いくつかの階に設け、うまく活用できないか。</p> <p>○障害者住戸の配置について、コミュニティミックスを目的としていることは理解したが、上層階にも車いすで移動することは可能と認識して差し支えないか。また、その際の避難経路は。</p> <p>○避難訓練の際には車いすの方の避難も想定した協力体制を、地域で計画し、実現されたい。社会福祉協議会が訓練支援を行っている。</p>	<p>の、極力小さな段差となるようにする。</p> <p>○そのようにいたします。</p> <p>○検討します。</p> <p>○消防署との協議を行っている。その中で、大型緊急車両の進入に支障をきたさないよう、道路形状の指導を受け、隅切りを大きくとる等、周辺市道の整備に反映させる予定。また、事業者の提案において、交流広場には消防活動用空地进行を計画している。</p> <p>○検討します。</p> <p>○検討します。</p> <p>○一般住戸においても、開口部の有効幅員を車いす使用者が通行可能なものとしている。</p> <p>○入居者の中から、管理人を選んでいただき、水やりなどの管理をお願いしている。なるべくご負担のかからないように配慮している。</p> <p>○防災拠点にはなっていない。当該区域の避難所は東山中学校体育館であり、また、耐震改修済み。</p> <p>○検討します。</p> <p>○可能。ただ、非常時への対応については、建築基準法等を満たしているレベルにとどまるもの。エレベータも止まっている状態であるならば、階段で下りるしかないため、入居者により連携を図っていくしかない。なお、一般住宅については、バルコニーのハッチより避難可能ではあるが、健常者のみの避難経路となる。</p> <p>○検討します。</p>
---	---

<p>○一般住戸についても、住戸内に手すりが必要になった時に取り付けが容易に行えるよう、下地の設置をお願いしたい。</p> <p>○集会所にオストメイトの設置を。簡易的なものでよい。</p> <p>○桜並木はどうなるのか。パースでは植え替えることになるものと理解しているが、大きな並木に戻るまでには時間がかかるのでは。</p>	<p>○可能な範囲で対応する。</p> <p>○前向きに検討したい。</p> <p>○既存の桜については、老木となっていること、計画している施設に支障が出てくることから、除却した。桜に愛着のあるご意見を数多く頂いていることから、新たに苗木を植栽する。委員ご指摘の通り、当面は幼木であり、ご期待に添えられないものの、約10年で成長するものと思われ、入居者説明会でもその旨説明を行い、ご理解を求めた。</p>
---	--